

日本の食の安全特別コース

Progress

日本の食の安全人材育成プログラムの現状と展望

最近、農学部にある5つのコース名の変更を検討する案が話に上がり、田村は「食品科学コース」の改革名として「ウェルネス食品コース」という名前を提案した。健康や環境に配慮した食品分野の開発を目指す気持ちを含めて提案したが、学生には不評で却下になった。それは、今の「食品科学コース」が時代に合わない事例が出て、変更を考えたわけではなく、次の時代を先取りしたコース名にする良い機会だと思いい、提案した。だが、学生達にとっては自分達の所属するコース名が変更されることで後輩達に対するアイデンティティの喪失を恐れた結果なのかもしれない。

「日本の食の安全特別コース」の名前についても、プログラム発足時の2009年には食品偽装、農薬の混入・添加など、食品企業の海外拠点での問題も生じていたため、安全な原料調達課題であった。当時、日本経済は強く、本プログラムに魅力を感じる学生も多かった。誤解を避けるために一言付け加えるが、私は今でも、留学生や食品企業にとって本プログラムは大切であると信じている。

他方で、プログラムの維持は、「慣性」に甘んじる場合もある。改革の努力を惜しむと、それは「惰性」につながる。魅力を維持発展するにはどうしたら良いかと自分に問いかけながら過ごした15年間であった気がする。幸いにも、国費留学生の確保も何度かでき、それに伴い入学者の語学力は国費基準のTOEFL（セファール）B2以上か、もしくは日本語能力試験N2レベル以上となり、母国で優秀な成績を収めた食品系の学生を集めることに成功した。入学後にも日本語教師陣が基礎学力やインターンシップに合わせた日本語指導、茶道やマナー講座を通じて、文化理解も支援し、本プログラムを維持発展させてきた。

今後は、本プログラムの奨学金の増額も可能にし、留学生だけでなく、日本人学生を巻き込んで発展していきたい。共学プログラムの学部教育への導入など発展する課題は多いが、学部長からの熱心な助言もあり、国際化に対応した魅力ある学部として発展する機運が高まっている。企業の皆様におかれましても、引き続き、本プログラムにご支援ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

（田村教授）

News

12期生修了式・14期生入学式

令和4年9月16日（金）、香川大学農学研究科において第12期生の修了式が執り行われました。十分な新型コロナウイルス感染対策の下、久しぶりに学外から修了生の就職先関係者や来賓の方々が本学にお越しくださり、来学が叶わない修了生の家族や関連企業の方々には遠隔配信のハイブリッド形式でご出席いただきました。算学長より5名の修了生に学位記が授与され、門出のお祝いと温かい激励の言葉を贈られました。今年も5名全員それぞれに就職先が決まり、今後の活躍が大いに期待されます。

10月7日（金）には本コース第14期生となる、ベトナム出身のレさん、インドネシア出身のザインさんの入学式が執り行われました。新入生には算学長より歓迎と激励の言葉をいただき、四国経済産業局地域経済部部長熊野様からのご祝辞は同局地域経済課課長の田中様より披露していただきました。新入生の二人は初めての日本式セレモニーでの行事進行に緊張し、戸惑いながらもお祝いの言葉に励まされ、新たな夢を実感しているようでした。

最後にレさんから、これから始まる日本での新生活に向けての力強い決意表明がありました。

（樋口特命教授）



12期生修了式



14期生入学式

News

14期生の紹介

今年度は2ヶ国から2名の新入生を迎えました。それぞれが、抱負を胸に目標に向かって取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

- ①レ アン バン
- ②LE ANH VAN
- ③アイン
- ④ハノイ工科大学
生物・食品技術学部
- ⑤ベトナム出身



⑥このプログラムのおかげで、日本で勉強できます。香川大学では食品の安全性や日本の労働文化などを一生懸命学んで頑張ります。このコースを修了したら日本の食品会社で働きたいです。

- ①ザ イン イフアニ ナビラ
- ②ZAIN IFFANI NABILA
- ③ファニ
- ④ボゴール農業大学
数学・自然科学学部
- ⑤インドネシア出身



⑥将来は日本の食品関連会社で働きたいです。そのために日本語能力を高めることに挑戦しています。そして私の専門の知識を向上させるために最善を尽くします。



13・14期生
（農学部で撮影）

- ①氏名フリガナ
- ②氏名（名字・名前・ミドルネーム）
- ③ニックネーム
- ④最終学歴
- ⑤出身国
- ⑥今後の抱負

Review

留学生採用企業様よりメッセージ

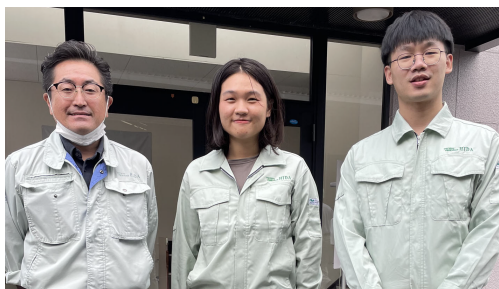
株式会社テクノプレニードヒダと申します。岐阜県加茂郡川辺町という全く聞いたこともない、行く用事もないような田舎町で、ゴムや樹脂の原材料を機能性を上げるために、もう一練り（プレニード）している会社です。創業から54年、ゴム成型からゴム原料製造を経て、現在は化学原料を混ぜるビジネス（プレニード）が経営の主体です。近年はアグリの世界にも携わるようになりまし。海外では、2004年に中国上海に法人を設立し、現在も二つの工場でゴム成型、ゴム原料、ゴム製品のアッセンブリー加工を行っています。また2016年には、タイに現地法人を合併で設立し、現在は混ぜるビジネス（プレニード）を中心にタイ国内やASEAN（東南アジア諸国連合）、中南米、アフリカ向けに販売しております。

この度、ジェトロ（日本貿易振興機構）様主催の高度外国人人材の合同説明会にて、香川大学農学研究科の大学院生2名を採用させて頂きました。香川大学農学部の皆様のおもてなしや心温まる対応に感動し、改めて今回の御縁に心から感謝を申し上げる次第です。

前述のとおり、アグリの世界で少しずつ取り組んでいる中、今回入社頂いた、タイ出身で笑顔いっぱいのルアンさん、中国出身で元気いっぱい陳さん、この2人が今後、我々と共に試行錯誤しながら、母国の出身大学で学んだ知識と香川大学農学研究科での研究成果を生かし、この世の中に必要とされる新しい価値を生み出し、社会に貢献できるビジネスを作り出していく人材となるよう強く願っております。



（株式会社テクノプレニードヒダ
肥田 彰吾 代表取締役社長）



肥田社長 ルアンさん 陳さん